

## 令和元年度 人文・自然科学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

亀 節子, 吉田仁志, 王 財源, 中吉隆之

### B. 研究活動の概要

王 財源教授を研究分担者とする科研費による共同研究「統合医療による『冷え』の解明とその予防」(基盤研究 C; 19K10727) が採択された。研究期間は 2019-2021 年で、古代の科学技術、中国伝統医学、医療哲学より「冷え」に遡及的考察を加え、その現象を論証し、統合医療の果たすべき役割に関して客観的・科学的な手法を用いて研究を進め、現象でみている「冷え」について、示唆された研究成果を国際雑誌に投稿する予定となっている。その他の研究活動については、各メンバー個人の専門分野に関するものが主であるのは従来通りである。

### C. 研究業績

#### 1. 著書・原著

##### 【著書】

王 財源：実践鍼灸美容学（第 2 版），医歯薬出版，2019.

##### 【原著】

Koichi Ouchi, Mayumi Watanabe, Chikako Tomiyama, Takuya Nikaido, Zaigen Oh, Toru Hirano, Kohei Akazawa, and Nozomu Mandai: "Emotional Effects on Factors Associated with Chronic Low Back Pain", Journal of Pain Research, 3343-3353, 2019: 12.

#### 2. 総説

特になし。

#### 3. 学会発表

1. 王 財源, 大形 徹：出土資料にみる「美容」と伝統医学の関連性—「鍼灸美容学」からの考察, 第 68 回全日本鍼灸学会, 愛知, 2019.5
2. 渡邊真弓, 王 財源, 大内晃一：鍼灸美容学における「美容」と「健康」—体温・腰痛, そしてエネルギー産生系のシフトの試行的考察, 第 68 回全日本鍼灸学会, 愛知, 2019.5
3. 中村吉伸, 渡邊真弓, 王 財源：左右の血圧のバランスを調節する自律神経に対する鍼灸手技施術と左右の

血管の太さの測定, 第 68 回全日本鍼灸学会, 2019.5

4. 河村菜捺美, 山口由美子, 伊藤俊治, 王 財源：月経不順に対する鍼灸配穴の文献的考察—マウスを用いた生理的メカニズムの確認—, 日本東洋医学会 関西支部例会, 大阪, 2019.10

#### 【学術講演】

1. 王 財源：美容と東洋医学, 鍼灸新潟特別講座, 新潟, 2019.4
2. 王 財源：中国伝統医学, 軒岐会例会, 大阪, 2019.7
3. 王 財源：鍼灸美容学, 大鍼協学術講演会, 東京, 2019.10
4. 王 財源：漢方方剤学, 兵庫医療大学, 兵庫, 2019.10
5. 王 財源：中国伝統医学の理論法則と実践—臨床現場における鍼灸学の運用—, 倉敷芸術大学, 岡山, 2019.12

#### 4. 研究費獲得状況

王財源（研究分担者）：統合医療による『冷え』の解明とその予防、文部科学省科学研究費補助金（代表者：渡邊真弓、基盤研究 C、2019 年～2021 年度、課題番号 19K10727）

### D. 社会活動・その他

王 財源：日本中医学会 理事

日本東洋医学会 研究機関連絡協議会 常任理事

日本良導絡自律神経学会 常任理事・近畿ブロック相談役

全日本鍼灸学会 近畿支部学術委員

大阪医科大学麻酔学教室「東洋医学とペインクリニック」編集委員

第 72 回日本良導絡自律神経学会学術総会 相談役

第 11 回日本中医学会学術総会 実行委員

中吉隆之：発熱, 国民のための鍼灸医療推進機構「平成 31 年度 鍼灸師卒後臨床研修 医療人研修講座（関西会場）」, 大阪, 2019.12

中吉隆之：日本赤十字社 第 5 回救急法基礎講習, 大阪, 2020.2

中吉隆之：国際協力機構(JICA) 日系研修(鍼灸学)にて、ブラジル人研修員のサポート, 2019.6.23 - 9.13